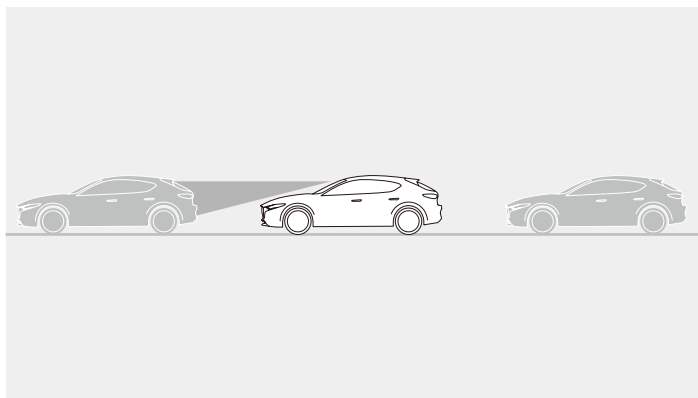


MAZDA3 SAFETY

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



- 対象が前方車：約 4km/h 以上
- 対象が歩行者 / 自転車：
約 10km/h ～約 80km/h
- *メーカーオプションのドライバー・モニタリング装着車は、ドライバーモニタリングカメラでドライバーが正面を注視していないと判断した場合に対象物への衝突の可能性があるときは、通常より早期に衝突警報を行います。
- *イラストは機能説明のイメージです。

前方の車や歩行者を検知する **運転支援機能**

スマート・ブレーキ・サポート

[前方検知機能] (SBS) ※ 1 ※ 2 ※ 13

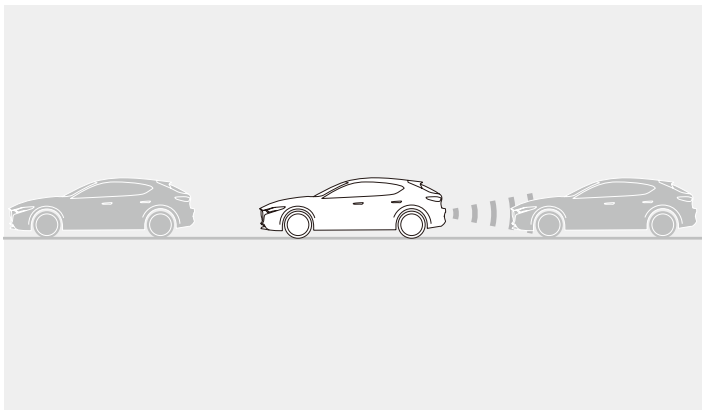
レーダーセンサーおよびカメラが前方車、歩行者（昼間 / 夜間）、自転車（昼間）へ衝突する可能性があると判断したとき、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに衝突の危険性を知らせます。衝突を回避できないと判断すると、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。ドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合は、ブレーキが素早く確実にかかるようサポートします。

*標準装備



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

後進時に車や障害物を検知する **運転支援機能**

スマート・ブレーキ・サポート

[後方検知機能] (SBS-R) ※2 ※13

約 2 ～ 8km/h で後退中に後方の障害物を超音波センサーが検知し、衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御によって衝突時の被害の軽減を図ります。

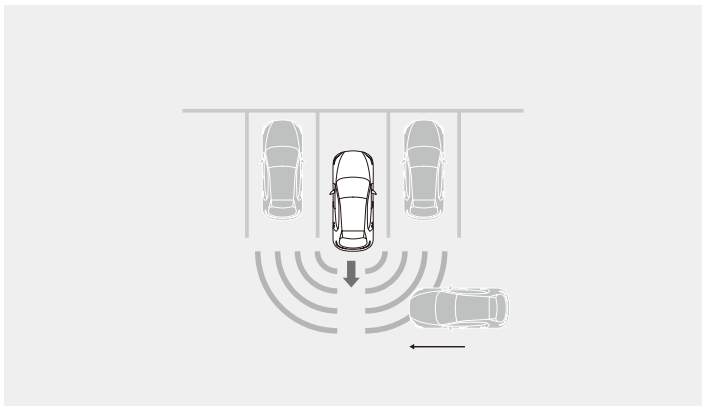
*標準装備

■リアパーキングセンサー (センター / コーナー / サイド) :
リアバンパーの超音波センサーで近距離の静止物を検知し、警告音でドライバーに知らせます。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

後進時に左右から接近する車を検知する **運転支援機能**

スマート・ブレーキ・サポート

[後進時左右接近物検知機能] (SBS-RC) ※ 3 ※ 13

0 ～ 約 10km/h で後退中に自車の左右や後方に接近してきた車両を検知。衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

*標準装備



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術

■AT誤発進抑制制御[前進時]イメージ図



*カメラはフロントガラス上部に設置、超音波センサーはフロントバンパーに設置。

■AT誤発進抑制制御[後退時]イメージ図



*イラストは機能説明のイメージです。

ペダルの誤操作による急発進を抑制する **運転支援機能**

AT 誤発進抑制制御 [前進時 / 後退時] ※ 2 ※ 4 ※ 13

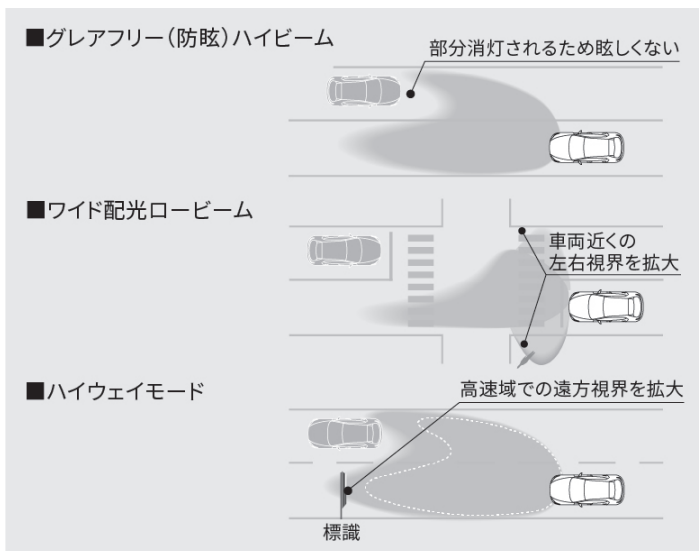
徐行中 (前進時：約 15km/h 以下、後退時：約 10km/h 以下)
や停車時、カメラや超音波センサーが前方または後方に
車両や壁などの障害物を検知しているにも関わらず、必要
以上にアクセルペダルが踏み込まれたとき、表示および
警報音と同時にエンジン出力を抑制。前進時には、衝突を
回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで
衝突時の被害の軽減を図ります。

*標準装備 (AT 車)



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

夜間でも安全運転に必要な視認性を確保する
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) ※ 5 ※ 13

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ヘッドランプの照射範囲や明るさを自動的に変化させるシステムです。

*対象グレードは Technical Information をご確認ください。

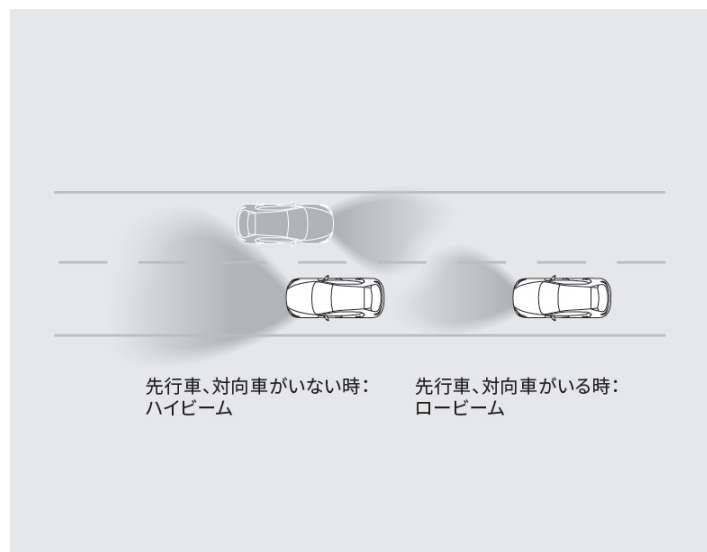
- グレアフリー（防眩）ハイビーム：
約 30km/h 以上で先行車や対向車の状況に応じてハイビームの照射範囲を自動的にコントロール
- ワイド配光ロービーム：約 40km/h 以下で車両の左右側方を広く照射
- ハイウェイモード：約 95km/h 以上でより遠方を照射

*市街地走行時や外部の照明環境、走行スピードなどにより、機能が一部制限されます。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

夜間でも安全運転に必要な視認性を確保する

ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) ※ 5 ※ 13

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ハイビーム・ロービームを自動的に切り替えるシステムです。

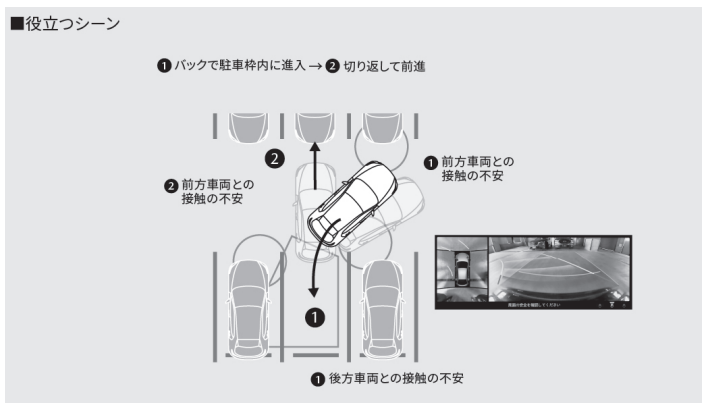
*対象グレードは Technical Information をご確認ください。

- ハイビーム：
約 30km/h 以上で走行中に、前方に先行車や対向車がないとき
- ロービーム：
次の条件のいずれかを満たしている場合に、HBC がヘッドランプを下向き（ロービーム）に切り替えます。
 - ・ 車速が約 20km/h 未満のとき
 - ・ 街灯が並んでいるエリアや路面の明るい街中を走行しているとき
 - ・ システムが前方車のランプ類を検知したとき



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

見えない部分の危険察知をサポートする

360°ビュー・モニター ※ 3 ※ 7 ※ 8 ※ 13

車両の前後左右にある4つのカメラを活用し、センターディスプレイの表示や各種警報音で低速走行時や駐車時に車両周辺の確認を支援するシステムです。

*対象グレードは Technical Information をご確認ください。

● トップビュー / フロントビュー / フロントワイドビュー / サイドビュー / リアビュー / リアワイドビュー

ドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合は、ブレーキが素早く確実にかかるようサポートします。

*標準装備



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

左右前方からの車の接近を通知する

前側方接近車両検知 (FCTA) ※ 3 ※ 13

交差点へ進入しているときに左右前方の死角から接近する車両を検知して、その接近状態に応じて表示を点灯させます。その状態で発進 (約 10km/h 以下) すると表示が点滅。警報音とともにドライバーに危険を知らせます。

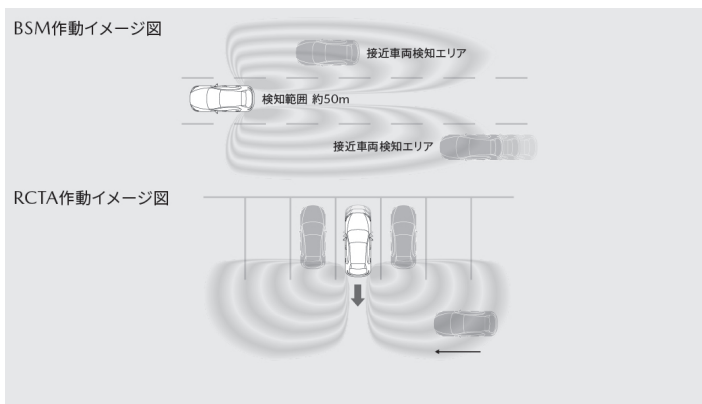
*対象グレードは Technical Information をご確認ください。

*FCTA : Front Cross Traffic Alert



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

後方からの車の接近を通知する

ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) ※ 9 ※ 13
& 後側方接近車両検知 (RCTA) ※ 6 ※ 13

BSM は後方から接近する車両の存在を知らせ、車線変更時の後方確認を支援するシステムです。約 15km/h 以上で前進しているときに後方からの接近車両を検知すると、接近状態に応じてドアミラー表示を点灯。その状態で点灯した側にウinker操作すると、点滅表示と警報音でドライバーに危険を知らせます。RCTA は駐車場などから後退するとき、左右後方に接近した車両を検知してドライバーに警告します。

*標準装備

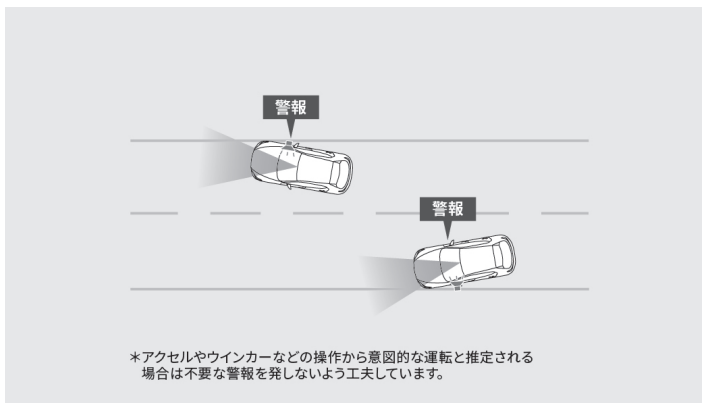
*RCTA：Rear Cross Traffic Alert

●検知エリア (BSM)：自車の左右に隣接する車線で、自車のフロントドア後端から自車の後方約 50m まで



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

車線からの逸脱を警告する

車線逸脱警報システム (LDWS) ※ 10 ※ 13

自車が車線から逸脱する可能性があることを知らせるシステムです。約 60km/h 以上での走行中にカメラが車線の白線 (黄線) を検知。自車が車線から逸脱する可能性があるときシステムが判断した場合に、警報によりドライバーに知らせます。

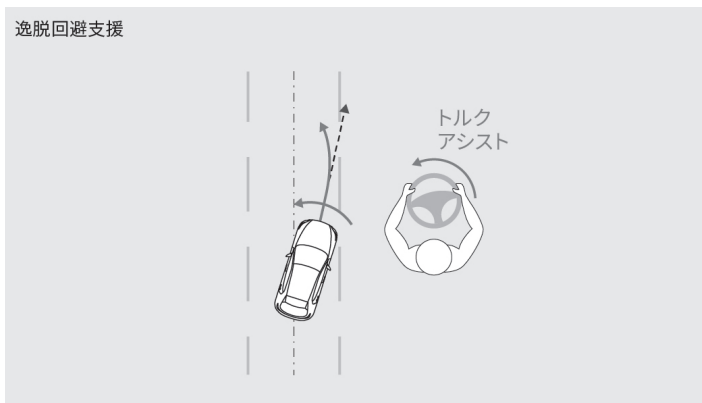
*標準装備

*LDWS : Lane Departure Warning System



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

車線からの逸脱回避を支援する **運転支援機能** **レーンキープ・アシスト・システム (LAS)** ※10 ※13

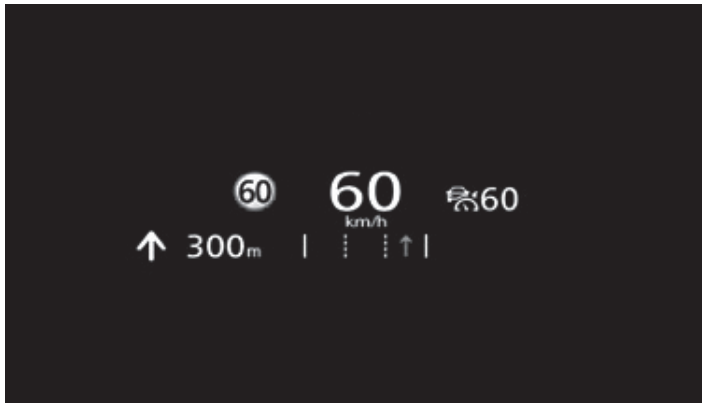
自車が車線から逸脱する可能性があるると、ハンドル操作をアシストすることにより車線からの逸脱回避を支援するシステムです。約 60km/h 以上で走行中に車線の白線（黄線）を検知して、自車が車線から逸脱する可能性があるるとシステムが判断した場合に、電動パワーステアリングを作動させてドライバーのハンドル操作をアシスト。同時にマルチインフォメーションディスプレイとアクティブ・ドライビング・ディスプレイの表示でドライバーに知らせます。

*標準装備



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術 / 運転負荷を軽減する安全技術



＊画像は表示イメージです。実際にはフロントガラスに照射されます。

少ない視線移動で表示認識できる

交通標識認識システム (TSR) ※ 11 ※ 13

走行中にカメラやナビゲーションシステム※¹が認識した交通標識を、アクティブ・ドライビング・ディスプレイとメーターに表示することで、交通標識の見落とし防止を図り、安全運転を支援するシステムです。表示した最高速度標識の速度を超過したときは、表示や警報音でドライバーに知らせます。

＊対象グレードは Technical Information をご確認ください。

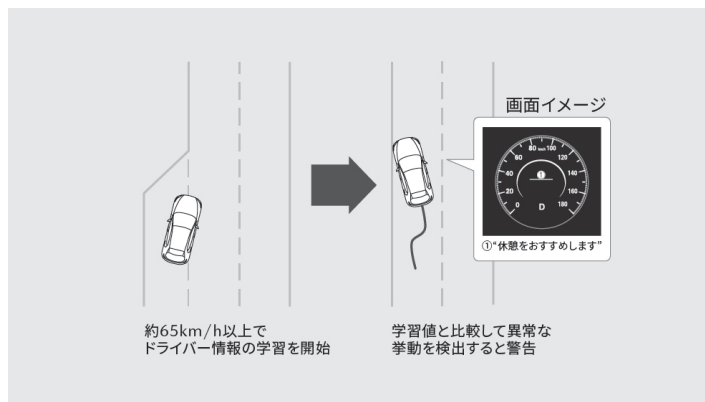
＊TSR：Traffic Sign Recognition system

※ 1 ナビゲーションシステムを機能させるには、別途ショップオプションのナビゲーションシステム用 SD カードアドバンス 2 が必要になります。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術



＊イラストは機能説明のイメージです。

ドライバーへの休憩をお勧めする

ドライバー・アテンション・アラート (DAA) ※ 13

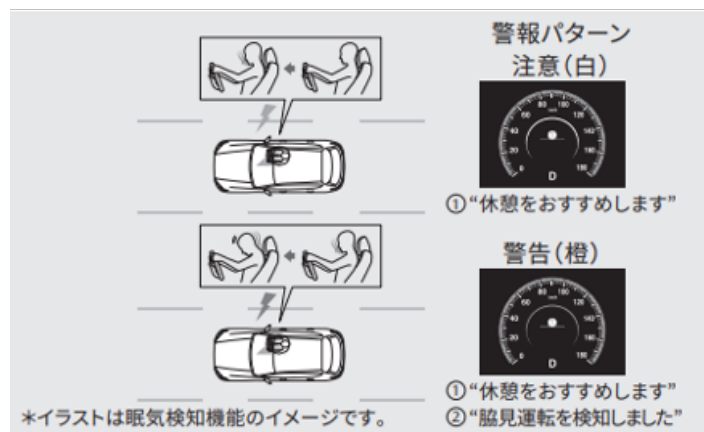
ドライバーの疲労や注意力の低下を検知し、ドライバーに休憩を促すシステムです。車線内を約 65km/h 以上で走行しているとき、クルマがドライバーの疲労増加や注意力低下を推定。マルチインフォメーションディスプレイの表示と警報音でドライバーへ休憩を促します。

＊標準装備



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

●眠気検知

警報パターン(注意):

①疲労や眠気を検出した場合

警報パターン(警告):

①より強い疲労や眠気を検出した場合

●脇見検知

警報パターン(警告):

②運転者の脇見を検知した場合

ドライバーの眠気・脇見を検知する

ドライバー・モニタリング※12※13

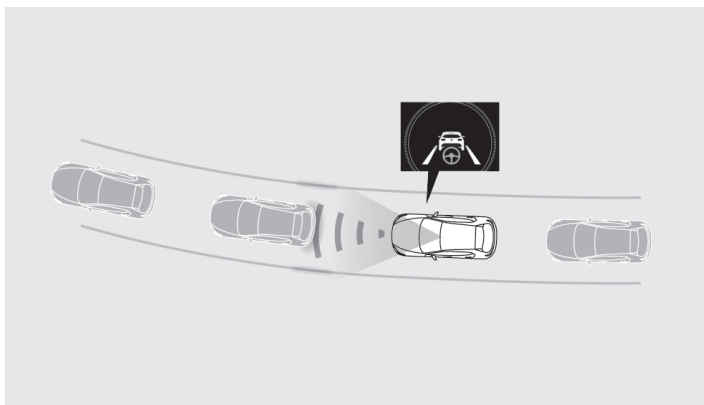
ドライバー・モニタリングは、運転者の眠気や脇見を検知して、運転者に知らせるシステムです。眠気検知機能は、運転者の眠気の程度を検知します。運転者の眠気を検知すると、画面表示と警報音で運転者に休憩を促します。また、脇見検知機能は、運転者の脇見を検知すると、画面表示と警報音で運転者に注意を促します。

*対象グレードは Technical Information をご確認ください。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

●追従走行機能

AT 車：0km/h ～高速域まで

MT 車：約 30km/h ～高速域まで

●ステアリングアシスト機能

AT 車：0km/h ～高速域まで

(白線検知時)

MT 車：約 30km/h ～高速域まで

(白線検知時)

高速道路での渋滞時に疲労軽減をサポートする **運転支援機能
クルージング&トラフィック・サポート (CTS)** ※ 2 ※ 13

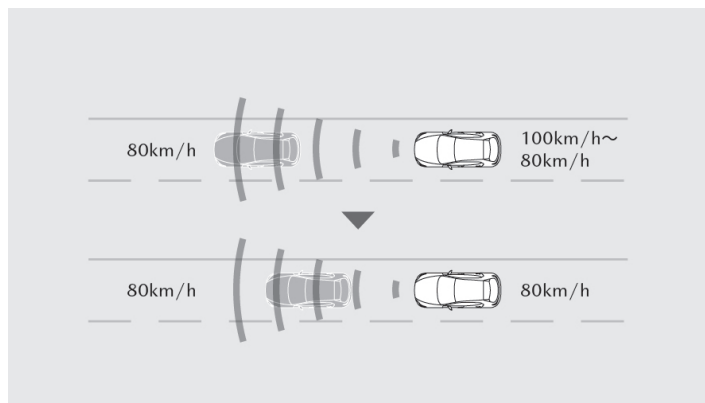
追従走行機能とステアリングアシスト機能により、高速道路や自動車専用道路の渋滞時に運転疲労の軽減をサポートするシステムです。先行車との車間距離を一定に保つ追従走行に加え、車線を検知している場合はステアリングアシスト機能が車線に沿った走行をアシスト。低速で車線を検知していない場合は、先行車の走行軌跡に沿った走行をアシストします。

*対象グレードは Technical Information をご確認ください。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

●AT 車 全車速追従機能付：

0km/h ～高速域まで

●MT 車：約 30km/h ～高速域まで

車間距離を一定間隔で保つ **運転支援機能**

マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC) ※2 ※13

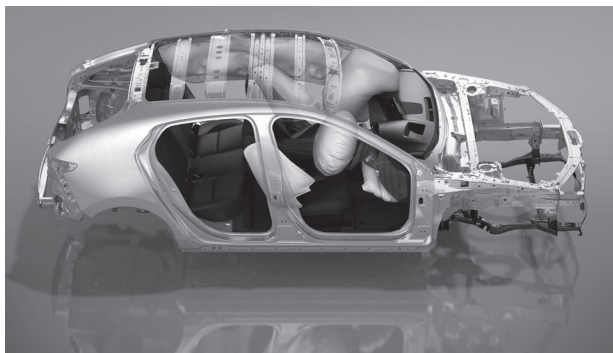
フロントレーダーセンサーが先行車を検知することで、アクセルペダルやブレーキペダルを踏まなくても、設定した速度での定速走行や、車間距離を一定に保ちながら追従走行ができるシステムです。

*標準装備



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

万が一の事故や衝突による被害を軽減するための技術



＊画像は機能説明のイメージです。

SRS^{※14} エアバッグシステム 運転席&助手席、運転席ニー エアバッグ、カーテン& フロントサイド

SRS^{※14} エアバッグシステムを全車に標準装備。前方からだけでなく、側面からの衝突時にも前後席の乗員への衝撃を軽減します。さらに運転席には、膝回りの傷害や体の前方移動を抑える SRS^{※14} ニーエアバッグを採用しました。

＊標準装備

乗員を素早く拘束する 高機能シートベルト

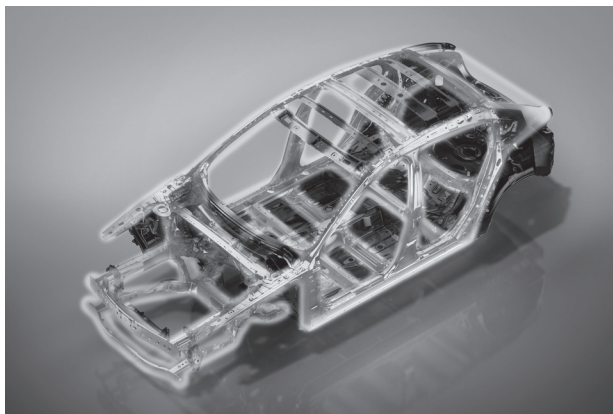
運転席・助手席・後席左右には、衝突初期の拘束性を高めるプリテンショナーと、安定した荷重で乗員を拘束するロードリミッターを装備。また、シートベルトの締め忘れを防ぐシートベルトリマインダーを全席に採用しています。

＊標準装備



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

万が一の事故や衝突による被害を軽減するための技術



＊画像は機能説明のイメージです。

キャビンの変形を最小限に抑える SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE

全方位からの衝撃エネルギーを効率的に吸収・分散するフレーム構造を採用。高強度な超高張力鋼板を使った骨格と多方面への環状構造を基本に、衝突時の変形の仕方を最適化するなど、高い衝突安全性能を実現しています。

＊標準装備

衝突時に歩行者の体を守る 歩行者被害軽減

歩行者の頭部を効率的に受け止めてエネルギーを素早く吸収するボンネット構造と、膝周りにかかる力を低減する工夫を取り入れたフロントバンパー構造によって、万一の衝突時に歩行者の傷害の軽減を図ります。

＊標準装備

万が一の事故や衝突による被害を軽減するための技術



安全運転サポート車(サポカー S・ワイド)に該当

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車(サポカー S・ワイド)」に該当しています。サポカー S・ワイドは、被害軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。



*対象車種、サポカーSの区分についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。上記QRよりご覧下さい。

https://www.mazda.co.jp/purchase/support_car/?utm_medium=qr&utm_campaign=mazda3&utm_source=catalog&utm_content=supcar

*AT 車

こちらでマツダ先進安全技術
i-ACTIVSENSE ガイドブックを ▶
ご覧いただけます。



<https://www.mazda.co.jp/purchase/webcatalog/>

安全技術について

安全にお使いいただく上での留意事項 (1/2)

- ※ 1 対象物 (特殊な外観をした車両、部分的に見えている、隠れている、もしくは背景に溶け込んでいる車両と歩行者など)、天候状況 (雨・雪・霧など)、道路状況 (カーブが連続する道路、夜間や夕暮れなど視界の悪い時など) などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
- ※ 2 対象物 (レーダー波または超音波を反射しにくい形状の車両など)、天候状況 (雨・雪・霧など)、道路状況 (カーブが多い、坂の繰り返しなど) などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
- ※ 3 天候状況 (雨・雪など)、隣接する壁や接近車両の状況などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
- ※ 4 道路状況 (急カーブ、急な坂道など)、天候状況 (雨・雪・霧など)、障害物の形状 (低い・小さい・細いなど) などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
- ※ 5 周囲に光源があるとき (街灯・信号機など)、天候状況 (雨・雪・霧など) 道路状況 (カーブが多い・起伏が激しいなど) などの条件によっては適切に作動しない場合があります。システムを過信せず、つねに周囲の状況に注意して、必要に応じて上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を切り替えるなど安全運転を心がけてください。
- ※ 6 天候状況 (雨・雪など)、隣接する壁や駐車車両の状態などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
- ※ 7 カメラが映し出す範囲やセンサーの検出範囲は限られています。また夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。画面はイメージで実際とは異なる場合があります。安全のため、モニターの映像を過信せず目視による安全確認を行いながら運転してください。
- ※ 8 字光式ナンバープレートとの同時装着はできません。車速約 15km/h を超えると画面が消える設定としています。

安全技術について

⚠ 安全にお使いいただく上での留意事項 (2/2)

- ※ 9 天候状況 (雨・雪など)、接近車両の状況 (自車に接近してこない、速度差がなく長時間並走しているなど)、道路状況 (道路幅が極端に広い / 狭いなど) などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
 - ※ 10 天候状況 (雨・雪・霧など)、道路状況 (急カーブ・車線幅が極端に広い / 狭い・車線の白線 (黄線) が見えにくいなど) などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
 - ※ 11 対象標識 (明るすぎる・暗すぎる・汚れ、雪、木などで隠れているなど) 天候状況 (雨・雪・霧など)、道路状況 (カーブが連続する道路など) などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
 - ※ 12 頻繁に顔の向きを動かす、目や顔の一部が隠れている、光の環境が大きく変化するなどの条件によっては適切に作動しない場合があります。
 - ※ 13 SBS、SBS-R、SBS-RC、AT 誤発進抑制制御、FCTA、RCTA、360°ビュー・モニター、ALH、HBC、LAS、LDWS、BSM、TSR、MRCC、DAA、CTS、ドライバー・モニタリングは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。
 - ※ 14 SRS : Supplemental Restraint System (補助拘束装置) 運転席 & 助手席エアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には作動しません。カーテン & フロントサイドエアバッグは横方向からの衝撃を感知した場合、感知した側が作動しますが、正面や後方からの衝突時や衝撃が小さい場合には作動しません。すべての SRS エアバッグはシートベルトをしたうえでの補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。
- その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱説明書をご確認ください。